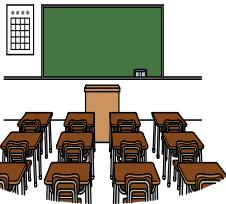


令和7年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

去る4月17日に中学校3年生を対象に全国一斉に実施した「全国学力・学習状況調査」について本校生徒の状況をお知らせします。すでに札幌市全体の状況については新聞等で発表になっておりますのでご覧になった方も多いのではないかと思います。過日、文部科学省から届いた結果と、結果から読み取れる、本校生徒の傾向と課題及び改善の方向性についてもお知らせいたします。この結果については、今後の学習指導等に活かしていきたいと考えております。なお、個人票はすでに3年生本人及び保護者の方へお渡ししておりますので、こちらの表や解説と併せてご覧いただければと思います。



1. 冊子による筆記方式

区分		全国平均との比較
国語	言葉の特徴や使い方	上回っている
	話すこと・聞くこと	ほぼ同程度であるが、やや上回っている
	書くこと	下回っている
	読むこと	ほぼ同程度であるが、やや下回っている
数学	数と式	ほぼ同程度であるが、やや上回っている
	図形	ほぼ同程度であるが、やや上回っている
	関数	ほぼ同程度であるが、やや上回っている
	データの活用	下回っている

①国語に関する概要と改善の方向

<概要>

本校では、国語は、「言葉の特徴や使い方」の区分が全国平均と比べると「上回っている」という結果であり、「話すこと・聞くこと」の区分が全国平均と比べると「ほぼ同程度であるが、やや上回っている」という結果でした。また、「書くこと」の区分では全国平均と比べると「下回っている」結果でした。

<改善の方向>

「書くこと」と「読むこと」の区分が全国平均と比べて低くなってしまっており、特に「書くこと」において伝えたい情報を整理して文章の構成や展開を考え、自分の考えを分かりやすく伝わるように表現することが課題となっています。筋道を立てて物事を表現する力を身につけるために、情報を整理して分かりやすく伝えようとする活動を授業に積極的に取り入れます。

②数学に関する概要と改善の方向

＜概要＞

本校では、数学は、「データの活用」の区分が全国平均と比べると「下回っている」という結果であり、その他の区分は「ほぼ同程度であるが、やや上回っている」という結果でした。

＜改善の方向＞

「データの活用」区分の正答率が低くなっています。相対度数などに関する語句と意味、データから分析し説明する力が課題として挙げられます。文章や数値、図を読み取り、根拠をもって説明しようとする活動を積極的に授業に取り入れます。

2. オンライン (MEXCBT) によるテスト

①理科に関する概要と改善の方向

＜概要＞

物理、化学、生物、地学の4領域からまんべんなく出題されていました。難易度にもよりますが、粒子を柱とする化学分野で正解率が高いということがわかりました。一方で、地学分野の地層に関する問題にはもう少し改善の余地がありそうです。

＜改善の方向＞

一問一答的な知識を問う問題だけでなく、データや図を見て論理的に思考する問題に取り組む必要があります。論理的な思考を身に付けるには時間がかかります。過去の定期テストや学力テストで不正解だったところをもう一度見直すことも大切です。

本校としましては、今後とも札幌市が掲げる「課題探究的な学習」を目指し、学習指導のより一層の充実に向けて、全校体制で授業研修を進めていきたいと考えております。

※なお、札幌市の詳しいデータをお知りになりたい方は、札幌市公式ホームページ：「教育・文化・スポーツ」→「学校・幼稚園・教育」→「教育についての取組・計画」→「調査・統計」→「全国学力・学習状況調査」に掲載されていますのでそちらをご覧ください。

【掲載先アドレス：https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/gakute/gakute_hp.html】



3. 質問紙調査から

＜全国平均より高い主な項目＞

- ① 朝食を毎日食べていますか。
- ② 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。
- ③ 自分には、よいところがあると思いますか。

肯定的な回答の割合

	全 国	本 校
①	91.2	92.4
②	92.6	94.3
③	86.2	88.6

＜全国平均より低い主な項目＞

- ① 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ② 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
- ③ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



	全 国	本 校
①	79.2	63.9
②	78.7	62.6
③	77.5	67.1

全国平均より低い項目はありますが、全体的に見ると、多くの生徒が学校や家庭で、落ち着いた生活を送っていることがうかがわれます。一方で、学習においては、自分自身で学びを深めていくという姿勢が全国平均よりも低い傾向にあり、今後の授業展開や学習指導における課題であると考えます。

ここに挙げたものは、あくまでも生徒の一面にすぎません。良いところはさらに伸ばし、低かった項目については改善のための支援をしていきたいと考えております。今後とも、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。